

額賀福志郎衆院議長は20日、国会内で就任会見を開き、世界平和統一家庭連合（旧統一教会）との関わり

安定的な皇位繼承策に関する国會議論が停滞している現状について「これまでの経緯や状況を把握し、立念頭に「熱心に討論されてゐる」と評価。「各党の議論を踏まえ、立法府の考えが整理できればいい」と語った。

教団と「接点なし」 額賀議長

を問われ「自民党による調査時に調べた結果、接点はなかった」と明言した。「公正で円満な議会運営に全力を尽くす」と抱負を述べた。

法府としてどうするべきか考え方を整理したい」と言及した。

憲法論議では、先の通常国会の衆院憲法審査会で緊

急事態条項の新設に関する論点整理が示されたことを念頭に「熱心に討論されてゐる」と評価。「各党の議論を踏まえ、立法府の考えが整理できればいい」と語った。

人口減少が進む中で、地方の在り方は国政上の大いな課題との認識も示した。細田博之前議長の辞任は「極めて残念だ」と述べた。